

ゼミ番号		研究テーマ	H NO. 氏名			評価者
評価の基準	目標到達度	3年生				
		2年生				
	基準と徴候	1年生				
		高校入学時に概ね生徒が到達していると思われるレベル	高校1年終了時に到達が望まれるレベル	高校2年終了時に到達が望まれるレベル（目標）	探究活動終了時に到達が望まれるレベル	高校生の中でも極めて高い実力があると考えられるレベル
		探究活動の質において、大幅な改善を必要とするレベル	探究活動の質において、やや改善を必要とするレベル	探究活動の質において、満足できるレベル	探究活動の質において、十分に満足できるレベル	探究活動の質において、特別に優れているレベル
		探究の手順がわからず、探究活動を進められない	探究の手順の概略を意識し、探究活動を行っている	探究の手順を理解し、探究活動を行っている	探究の手順や一連の流れを理解し、探究活動を行っている	探究の手順や一連の流れを理解し、発展性のある探究活動を行っている
教員が多くの支援を行って初めて探究活動を行える	教員の支援で、探究活動を行える	教員の支援で、自ら考えて探究活動を行える	教員の支援で、自ら省察して探究活動を行える	教員の最小限の支援で、自ら調整して探究活動を行える		
観点 \ Lv.		1	2	3	4	5
課題発見力 仮説設定力	I 課題と仮説の設定	研究の意義を見出せず、問いを出せない ・問題意識が乏しく、課題・仮説を立てられない ・思いつきや表面的な発想から課題を設定している	研究に漠然とした意義づけができ、問いを立てられる ・漠然とした発想から、課題を設定している ・課題が絞りきれず、仮説が曖昧なままである	研究の意義を意識して、問いや仮説を明確に設定している ・発想や着眼点が良く、課題意識につながっている ・解決する課題が明確である ・課題に対する仮説を適切に表現している	研究の学術的・社会的価値を意識して、実行可能な問いや仮説を立てている ・発想や着眼点が良く、学術的・社会的な課題意識を持っている ・課題や仮説を的確に表現している ・実行可能な課題や仮説を設定している	既存の枠組みを問い、実行・検証可能な問いや仮説を立てている ・発想や着眼点が優れており、学術的・社会的な課題意識を持っている ・先行研究を踏まえて、課題の意義や妥当性をとらえている ・検証可能な課題や仮説を設定している
	II 資料収集の計画と実施	資料収集が課題解決や仮説の検証に結びつかない ・地道な調査や資料の管理ができない ・インターネットの記事や入門書の内容をまとめる程度である	資料収集が課題解決や仮説の検証に不足している ・資料収集の計画・実施に一貫性がない ・押さえるべき基本資料や基本文献にあたっていない	適切な資料収集を計画し実施している ・妥当な調査法を用いて見通しのある計画を立てている ・先行研究や基本文献にあたっている ・信頼できる資料を収集している	複数の資料による多角的な検証を計画し実施している ・先行研究や基本文献に挙げられる調査法を参考にしている ・複数の信頼できる資料を収集し、仮説の実証につなげている	信頼できる複数の資料を用いて、多角的な検証を計画し実施している ・一次資料にあたるなど、高校生として独創性のある調査を実施している ・多角的に資料を収集し、比較対照して仮説を実証している
読み解く力 (読解力)	III 資料の分析	資料をまとめていない ・必要な部分を選択できない ・資料の読解が読書程度である	資料を示すが、分析が不足している ・資料の精選が不十分である ・資料の読解や解釈が客観性に欠ける ・資料を図表等で整理できていない	資料を整理し正確に分析している ・先行研究を踏まえて資料を精選している ・資料を客観的に分析・読解している ・資料を図表等で整理している	複数の資料を解釈して用いている ・資料を的確に分析・読解している ・結論に向けた根拠として、資料を図表等で整理している	資料を精査した上で解釈し、目的に応じて用いている ・資料の意味や著者の位相などを考慮している ・資料を多角的に分析・検証している ・資料を適切な図表等に表示し、結論に向けて信頼できる根拠としている
	IV 論理の構成	論の構成ができていない ・研究過程の説明程度である ・根拠と結論の結びつきや論理に誤りや飛躍がある ・論が主観的で、信頼性に欠けている	論の構成が不十分である ・考察が一面的である ・論を裏付ける根拠が不足している ・課題に対する結論が示されていない	論理的な考察がなされている ・研究結果に基づく考察をしている ・考察を裏付ける根拠を挙げている ・課題に対する結論が示されている ・事実と意見が区別されている	論理的考察を行い、適切な結論を出している ・研究結果に基づく信頼性のある考察をしている ・考察を裏付ける適切な根拠を挙げている ・納得できる結論に至っている	多面的な考察を行い、発展性のある結論を出している ・研究結果に基づく的確な考察をしている ・考察を裏付ける根拠を精選し、新たな課題につながる論を構成している
考察力	V 研究成果の発表	研究内容や聴き手の意図を理解していない ・必要な要素を選ばず、研究の概要を羅列している ・聴き手を意識していない ・質問の意図をつかめず、答えられない	研究内容や聴き手の意図の理解が不十分である ・必要な要素が不足しており、研究の概要が伝わりにくい ・聴き手への応答が不十分である ・質問の意図をつかむが、適切に答えられない	研究内容や聴き手の意図をとらえている ・必要な要素が十分に含まれ、研究の内容を説明している ・わかりやすく説明している ・質問に対して適切に答えている	研究内容の要点をとらえ、聴き手に適切に対応している ・必要な要素を取捨選択し、研究成果を的確に説明している ・聴き手を意識した工夫がある ・質疑応答でも双方向のコミュニケーションが成立している	研究内容の要点をとらえ、聴き手と意見を交わして、研究に還元している ・必要な要素を精選し、研究成果を確実に伝えている ・聴き手をひきつけて、論拠をもとに意見を交わしている ・他者の意見を受けて、自らの考察・結論を再検討し改善を図っている
		表現力				